

かわらんべ

広報誌



天竜川の水が透明で 死人岩の底一帯に広がる岩盤も見えるくらいです <https://www.kawaranbe.net/>



NIPPON防災資産の記念撮影

2026年

3

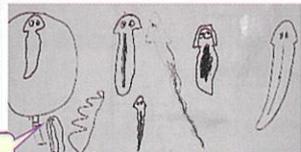
第280号

2026年2月19日発行

切ったら二匹!? フラナリア

1/24
63名

再生する生き物フラナリア 分裂して増える性質を確かめる再生実験を体験 今日では切るまで これから再生を観察



実物を観察 目がカワイイ

スケッチ よく描けてます

二つに切断 カラダは やわらかいので切るのはかんたん

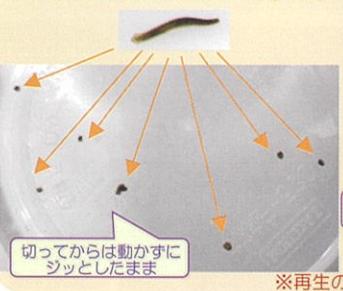
1月15日～2月14日

かわらんべ講座

詳細はコチラに掲載しています



かわらんべのは7つに切ってみました



再生するまで 2週間以上 かかります

見てもいいけど さわらないでね

館内で再生実験中です!

※再生のようすは本誌で紹介していきます

伊那谷名物のザザムシ 高価で珍味のザザムシ甘露煮を自分でつくって食べて 伝統河川文化を体験

ザザムシおいしい!

2/17
35名



カワゲラの味が一番おいしかった

まごたろう虫 ヘビトンボ

あお虫 ヒゲナガカワトビケラ

ざさ虫 カワゲラ



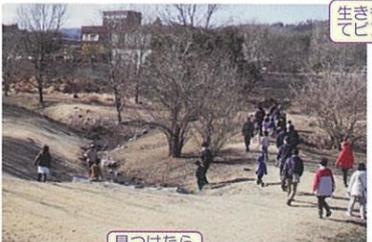
「おいしい」っていう人が多かった

春さがし

1/31
60名

タイトルは春さがしですが さがすのはキビシイ冬を耐えて春を待つ生き物たちの「冬越しの姿」冬を乗り切る生き物の知恵を知りました

生きものみつけてビンゴゲーム



見つけたらシールはり

コマダラ チョウの幼虫

カワコのまゆ



天竜川の野鳥を観察しました 水辺にはカモやサキ、樹林にはイカルやシメ、めったに会えないオオタカやハイタカもいました

冬の鳥をみつけよう

2/14
35名



天竜川の堤防から水辺の鳥さがし



施設正面でも野鳥観察ができますよ

見つけ鳥にシールはり

和紙であんどん作り

1/17
46名

和紙づくり講座の作品を使ったクラフト 和紙を貼った「あんどん」を作りました



紅葉がうかびあがってキレイですね

ウォーキング

1/15
15名

かわらんべコースを2周(6km)しました



絵手紙

2/5
16名

早春の花を描きました



ご利用いただきました リクエスト講座

1月15日～2月14日
のようす

【リクエスト講座とは】学校の授業支援・親子レク・地区行事など園・学校・各種団体からの要望を受けてご依頼団体と一緒に企画・運営する講座です

●龍江小学校 5学年 22名
2月10日(火) 染物



次年度のリクエスト講座のお申し込みについて

- 本来は申込の予約受付は年度が明けてからです
- その前でも希望日をお聞きして他の希望団体との調整は可能です【日時の仮予約】としての仮の扱いです
- 4月になったら早めに担当と内容の相談して予約を確定してください 当館様式の【利用申込書】の提出で予約確定です

※たまに仮予約のまま直前まで連絡のない団体さんもいますのでご注意ください

今年も平成18年7月豪雨災害から20年 【10年前の特集記事で振り返る】

平成18年7月15日、活発化した梅雨前線が伊那伊北地区の天竜川右岸地域に記録的な降雨をもたらしました。18日から19日にかけて各所で土砂災害が発生し、生命・財産が奪われたほか、諏訪湖周辺地域での広範囲にわたる浸水被害や、箕輪町内での天竜川堤防の決壊など、多くの災害が発生しました。

この災害から20年にあたる今年、災害教訓を風化させないためにも、節目の年に当時の思い起こし、この災害を自分事として捉えて、今一度 災害への心構えと防災の備えを家族や地域のみならず確認しましょう。今年に関連の防災イベントや展示等を本誌で紹介していきます。その1回目の今回は、災害から10年の年に広報誌に連載した特集記事で災害の実態を振り返ります。

連載① なぜ大きな災害となったのか？ 2017年1月号 第170号4面に掲載



豪雨のしぶきで白く霞んだ伊那市の三峰川周辺(2006年7月18日)

伊那谷の地形・地質に詳しい村松 武さん(飯田市美術館)に聞きました

連載④ 平成18年7月豪雨災害 岡谷市における 土石流災害の 地形・地質的な要因 2017年3月号 第172号4面に掲載

連載4回目は災害の発生要因としての地形地質について村松さんに寄稿いただきました。土石流で大きな被害が発生した岡谷市被災地の現地見学会での踏査結果の情報の紹介があり、地形には過去にも災害があった痕跡が見られたことや、土石流が風化火山岩の地帯で発生していることの指摘がありました。水を透さない風化火山岩の特性が表層土を一気に流して被害を拡大させたようです。さいごに防災の心構えとして、日ごろの避難への準備と自然への目配りについて提言がありました



写真 土石流の発生源(岡谷市志平川源流)と現場見学会の参加者(写真は執筆から提供)

▲位置図・航空写真ともに【天竜川シンポジウム 平成18年7月豪雨から10年】パネルより改変して引用

連載① 10年前 かわらんべも 大洪水

2016年10月号
第167号4面に掲載

開館間もないかわらんべ正面の水辺の楽校の浸水状況を当時のスタッフが撮影した写真で紹介しました。この記事はパネル化して館内の企画展に展示しました。

かわらんべ正面の 天竜川も大洪水



連載③ 水害を引き起こす 線状降水帯 とは？

連載3回目は災害の発生要因としての気象について今村理則さんに寄稿いただきました。流域の降雨量データからみて上伊那地域の雨量が多く、観測史上最大の値となったこと、下流側の流量の増加程度についてグラフで紹介がありました。当時から使われるようになった気象現象としての「線状降水帯」についての解説と、今回豪雨の特徴から線状降水帯の可能性を明らかにし、過去の大水害においてもその可能性の言及がありました。

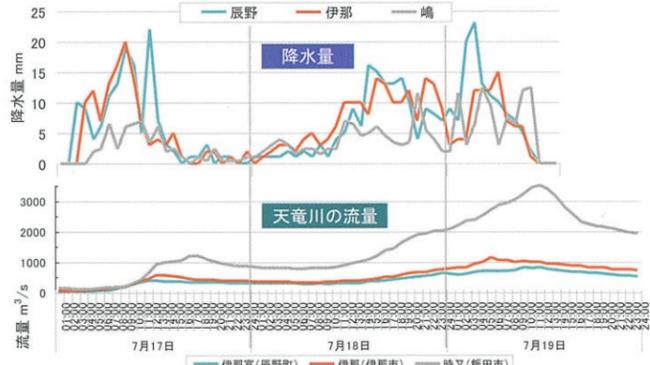


図 平成18年7月豪雨時の降水量と天竜川流量(平成18年7月17日～19日)
降水量データは気象庁(辰野・伊那)と執筆者の観測データ(飯田市嶋)
流量データは国土交通省「水文水質データベース」から引用して作成した

連載⑤ この災害の教訓を 明日の防災に 活かそう

2017年4月号
第173号3面に掲載

連載③④回目に伊那谷の自然と災害に詳しいお二人に気象と地形地質の両面から今回の災害を解説いただいた内容について総括しました。過去の災害の痕跡の上に暮らしている私たちが、降れば豪雨の時代を生き抜くために、ここから学ぶべきことは多いはずです。自然を知り過去の災害を知ることが防災の第一歩です。身近な自然の情報や過去の災害の教訓を、明日の防災に役立てましょう。



伊那谷の自然の特徴を知る講座 避難が必要な雨の強さを知る体験

天竜川の旅 第39回 宮ヶ瀬 牧ヶ原の辨天宮と刎ね

みやがせ まきがはら べんてんぐう は

天竜川の源流から河口にかけて、天竜川の姿や自然、人々の関わりをご紹介します

前回38回(268号)で紹介した「天竜川伏越」のすぐ下流で、左岸から小渋川・右岸から片桐松川が合流し、天竜川は下伊那郡へと入ります。ここは宮ヶ瀬と呼ばれ、釣り場としても有名で、水力発電所や水位観測など暮らしや防災に関連する施設のほか、水辺には先人の水防の取り組みや治水の願いを知ることで文化財もあります。



アユ釣りの有名ポイント宮ヶ瀬 無数の釣り人の姿が最盛期のアユ釣りの賑わいを物語っています(写真提供:下伊那漁業協同組合<平成9年の宮ヶ瀬>)



左岸には中部電力の生田発電所(写真左)とその下流に長野県企業局の小渋第2発電所(下2枚目の写真)があります。生田発電所は小渋川上流の大鹿村大河原から取水されて発電後に天竜川に放水されるため、ここから下流の水質は良好で水温も低くなります

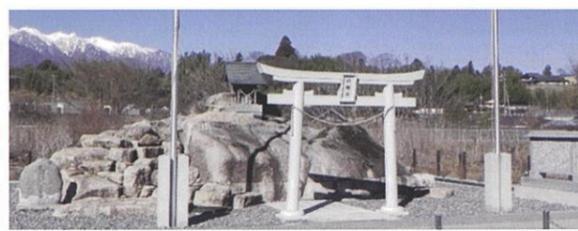


新しい宮ヶ瀬橋(2022年6月) 2021年12月19日開通しました



新橋設置にともない赤いトラス橋の旧宮ヶ瀬橋は撤去されました(2024年1月)

まきがはら べんてんぐう 牧ヶ原辨天宮(2024年1月) 天竜川のはん監をしずめ、田畑のかんがいの守護神としておよそ380年よりも前からまつられたとされています。元はこの場所よりやや下流側にありましたが宮ヶ瀬橋の架け替えのため令和元年に移設されました。この岩と下流の台城を結ぶ線が堤防の目じるしにもなっていました



まきがはらのはね 江戸時代の水防施設「牧ヶ原の刎ね」天竜川沿いの田畑を水害から守るため、江戸時代の初期から石堤(堤防)がつくられ、この刎ねはその堤防を守る働きをします。刎ねとは、強い流れをはね返す出っばりのことで、巨石を積んだ頑固な石垣のような形をしています。上の写真の弁天岩の下に設置され「二の刎ね」と呼ばれました。水害とたたかった先人の文化遺産として移転・復元された実物が展示されています



新しい宮ヶ瀬橋の建設地の天竜川河床から【ミソベタ層】のような黄色の基岩が出現(2017年6月) ※ミソベタ層のことは、次回のこのコーナーで紹介いたします

館内で飼育中の生きもの 成長のようす

イワナ赤ちゃん サカナっぽくありません

昨年の暮れ12月25日に卵から飼いはじめたイワナたち。年明けに赤ちゃんが誕生し2週間ほどでほぼすべて生まれました。今はこんなにサカナっぽい姿に成長しています。



ヤマトちゃん

ニッコウくん

生まれたころの赤ちゃんのすがた 1月9日

さいせいにつき フラナリア再生日記



切った数だけ再生するってホントかな? 1/24実験開始の切った時の様子は1ページ目の写真をご覧ください

7日後 1/31

10日後 2/3

きったときからうごかないもしかして..しっばい? まったく動きませんでも死んではいないようです

14日後 2/7

おやっ ちいさな あたまみたいなしるいものがはえてる!

あれっ! うごいてる!! はじめは入れ物の底の方に散らばっていましたが、この日からみんな横の方に移動しました

3月 かわらんべ講座 受付中

※3月の休館日は、2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)

■講座のお申込み時には、参加者全員のお名前・ご住所・お電話番号・学校名学年をお知らせください
付き添いだけの保護者の方も申し込みください
■欠席の場合は、必ず事前に連絡してください
(連絡がないと準備した材料や会場スペースが無駄になります) また 開始を遅らせて到着を待つこともあります



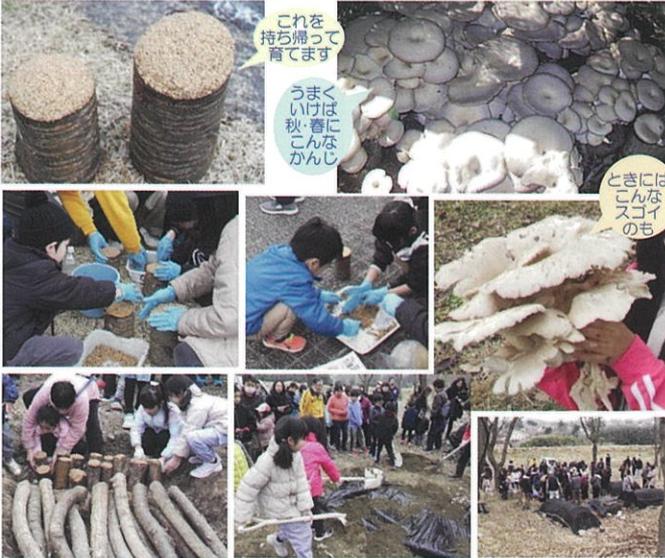
きのこ栽培 さいばい

子どもと保護者 会場：かわらんべと正面

3/7土 午前9:30～11:30

自宅の庭でヒラタケという食用のキノコを栽培してみよう(おいしいキノコです)育てる楽しみを自宅で体験でき、うまくいけば秋・春には収穫できます今回はタネを植えつける作業をします

- 【持ち物】
- 原木を持ち帰る袋
 - 軍手
 - 防水手袋
 - 防寒具



グラウンドゴルフ

子どもと保護者 会場：わんぱく芝広場

3/14土 午前9:30～11:30

ルールも道具も簡単なゴルフです
早春の河川敷の芝広場で春の陽をあびてのびのびと遊び感覚でプレーできて、いい運動になります

- 【持ち物】
- 防寒対策
 - 帽子
 - 手袋



草もちづくり

子どもと保護者 会場：かわらんべ正面

3/21土 午前9:30～12:00

年度しめくくりの講座です
1年間無事に講座ができたことに感謝して、来年度も予定どおりに講座が開催できることを願いつつ、みんなで大盛に餅つきをします

- 【持ち物】
- 袋(ゴミ用)
 - 軍手
 - 防寒具
 - モチを入れる容器とはし
 - 調理の服装
エプロン・帽子・マスク



絵手紙

成人講座

3/5木 定員20名

午前9:30～11:30

季節の画題を様々な技法で個性的に描きます

- 【持ち物】・教材費300円 ・筆記用具



ウォーキング

成人講座

3/19木 定員30名

午後13:30～15:30

天竜川堤防一周コース7kmを歩きます

- 【持ち物】・歩きに適した服装 ・飲み物



【注】3月の講座の時間は 9:30開始・11:30終了

冬時間は3月まで継続します 4月になったら元の時間に戻します

講座へご参加いただくときのお願事項

- 開始時刻5分前には受付をすませて会場でお待ちください
- 講座によって・季節によって 開始時間が早い場合や遅い場合があります
- 事前にホームページの「おしらせ」や講座ページを見て最新情報を確認してからご参加ください(急な変更や持ち物の追加などを掲載することもあります)